かえる便り 29年度12号

平成２９年６月２８日

初夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

“空気を読む”ことが出来る人とそうでない人がいます。誰しも少し氣を配るだけである程度の変化に氣が付くと思います。周りが見えすぎると　イライラすることがありますね。また、周りが見えなさすぎると　周囲が氣を揉む　ことがあります。必要以上に氣を配る必要はないけれど、　さりげない心遣い　をすることは人間関係を円滑にするうえで大変重要です。　良い氣配りをしたいものですね‼

サッカーではどうでしょうか？　同じ目標に“組織”　で立ち向かうわけですから、常に氣を配り味方に安心感を持たせることが大切です。逆に、敵にはイライラ感を持たせるようにすることが必要です。そのためにも、一人ひとりが責任を果たす努力を最後まで続けることが重要だと思いませんか？　責任とは何か、考えて下さい。

今春卒業した生徒の職場を訪ねてみました。元気に働き、職場の人にも可愛がっていただいているようで安心しました。

遠征等でいつも通る道から少し入っているところですが、回り道をしたおかげで新たな自然環境の素晴らしさを知ることが出来て訪問してよかったと思っています。夏の遠征には応援に来るそうですよ‼